

こどもひろばCOCOっ子の大きな特色

① 子どもへの支援を感情ではなく理論で行う

仕事の悩みの多くは人間関係だと言われます。教育や保育の分野は大人がチームを組んで行うタイプの業務の為、個人の価値観が対立し、より人間関係の悩みが噴出するのではないかと考えています。

そこで、こどもひろばCOCOっ子の取り組みとして、子どもの直接支援や間接支援、裏方の業務について、個々の感情や理解に任せず、全ての業務をマニュアル化する取組を行っています。これは、COCOっ子の理念である「最高の環境で、最適な支援で、子どもたちに成功体験を！」をもとに行っているのでブレることはありません。

これにより、子どもの支援に対して「COCOっ子は〇〇と思うから△△する」で支援を行ってもらうため、子どもへの対応で迷うことはありません。また、他の職員から「私は〇〇と思う」と意見を受け対立することはありません。さらには、対応の責任が個人にかえることがないので、利用者様から批判にさらされることも無くなります。

これまで、全職員が同じ方向を向き、ブレの無い支援を行ってきました。マニュアルは日々積み上がり、完成度を増しています。その結果、子どもたちが安心して成長できる場となっています。

COCOっ子では、「あなたが考える最高の支援」はできないかもしれません。しかし、「COCOっ子が考える最高の環境・最適な支援」により、迷うことなく業務を遂行することができます。事業所の中の職員が同じ考え方で子どもの支援に当たるという方針が求職様の考えに合う場合は是非採用試験に応募していただきたいと思います。

②業界内において、高い水準の昇給・賞与、働きやすさを実現する

COCOっ子では、できる限りの業務改革を常に行ってています。よって、子どもに関わる業務に時間を割くことができ、リモートワークも実現できています。また、昇給・賞与も業界内での高い水準を維持していきたいと考えています。さらには、福祉サービスの性質上、同じ役職であればどこかで給与の上限が来てしましますので、資産を守ったり、資産を運用して増やしたりする「お金の教育」も職員にしていきます。

追記:令和7年8月

福利厚生制度として、社宅制度を導入しました（家賃補助額最大25000円/月）

奨学金の代理返済制度を開始します（代理返済額20000円）

追記:令和7年10月

業務に使う服を購入する補助を行います（1回10000円（年2回））

目玉の福利厚生制度「企業型 DC」を令和8年4月から開始します。弊社に20年の勤務することで節税と同時に十分な老後資金を作り、常勤職員を退職できる仕組みを作ります。